

視察研修先	大分県宇佐市	氏名	佐藤 耕治
視察研修項目	移住・定住について		
<p>概要</p> <p>人口 51,552人 面積 439.05km²</p> <p>大分県の北部に位置し、北に周防灘が開け、県都大分市と北九州のほぼ中間に位置している。文化財の宝庫と言われている宇佐神宮や東西本願寺別院等古い歴史・文化遺産が多く保存・継承されているまちです。平野部での土地利用型農業、山間部での高付加価値農業や農業資源を活用したグリーンツーリズム、周防灘の豊かな恵みを受けた水産業、酒類製造のほか自動車部品や電気機器などを製造する各種技術産業、歴史、文化遺産を活かした観光など多彩な産業が営まれている。</p> <p>これまで県内、九州内の移住者が多い傾向にあり、特に九州内では、隣県である福岡県からの移住者が約8割と多くを占めている。</p> <p>「移住」・「定住」支援策として、</p> <p>① 宇佐市独自支援</p> <p>起業支援、空き家改修、家財道具の処分支援、孫ターン世帯新築購入支援、孫ターン世帯空き家購入支援、住宅取得新築購入支援、マイカー取得支援、住宅取得新築購入子育て支援、ペーパードライバー講習費支援、Uターン者支援、</p> <p>② 体験型移住活用として、空き家バンク物件や移住後の生活環境に関わる施設の案内、先般移住者との交流や市内の観光名所めぐり等、移住者の要望に合わせたきめ細かな</p>			

オーダーメイド型の移住体験ツアーと併せ、市指定文化財〔古荘邸〕を日帰り～最大7泊8日で無料貸出している。

考察

財政負担として、毎年約5千万円近くを支出しているが、移住後に市の税収となる市民税、固定資産税を踏まえると、財政負担を行う上で重要と考えていることに感銘しました。

地域定着を支える仕組みとして、移住者と地域住民が求める水準と現実のズレによるミスマッチが大きな課題と捉え移住者に参加を要望する行事等、情報や特徴を地域ごとにまとめ見える化した「地域カルテ」を作成し移住検討者に提供していること。

さらに、魅力的な地域づくりの一環とし、地域おこし協力隊制度を活用し、地域コミュニティ組織の活動支援が移住・定住に繋がっていると感じた。

地域おこし協力隊が任期後に円滑に定住できるよう、任期2年目から勤務時間内で定住活動を認めていること。月17日勤務のうち2日、3年目は3日まで上限として、不動産会社への訪問など。さらに、起業に必要な設備費、備品購入費、マーケティングに要する費用などに活用できる仕組みとなっている。15年間で34名の退任者のうち約7割が定住している。

アンケート結果より、定住から移住につながるまちづくりに、「高い安全性」「雇用の受け皿」「教育環境の良さ」の移住者ニーズが大きな参考になりました。

視察研修先	大分県別府市	氏名	佐藤 耕治
視察研修項目	Park-PFI 制度を活用した公園整備について		
<p data-bbox="156 465 225 499">概要</p> <p data-bbox="188 562 1031 595">人口 111,319人 面積 125.34km²</p> <p data-bbox="188 656 1430 689">別府市は、九州の北東部、瀬戸内海に接する大分県の東海岸のほぼ中央に位置する。</p> <p data-bbox="188 750 1437 976">別府国際観光港を起点として鶴見岳や由布岳の南側を大分県道11号別府一の宮線が通る。なお、鉄道は市海岸沿いをJR九州の日豊本線が通る。これに加えて、別府港へは船便も就航している。</p> <p data-bbox="188 1037 1430 1070">別府八湯という8ヶ所の温泉地があり、これらをまとめて別府温泉郷と称されている。</p> <p data-bbox="188 1131 979 1164">毎年800万人を超える観光客が訪れる観光都市である。</p> <p data-bbox="172 1225 533 1258">Park-PFI 事業は、4ヶ所</p> <p data-bbox="156 1321 820 1355">① 別府公園東駐車場便益施設等整備運営事業</p> <p data-bbox="188 1417 932 1451">一日中過ごせる公園の実現。公園の新しい過ごし方</p> <p data-bbox="188 1514 1437 1648">民間事業者が施設周辺を整備し、公園をブランディングした「スターボックス」、年間利用者数27.4万人となった。</p> <p data-bbox="156 1709 659 1742">② 鉄輪地獄地帯公園整備運営事業</p> <p data-bbox="204 1805 1043 1839">手軽に手ぶらでアウトドア体験を楽しめる複合型体験施設</p> <p data-bbox="204 1901 932 1935">公園全体の周遊ルートは公共事業で整備している。</p>			

③ 春木川公園整備運営事業

立体都市公園制度

長期未着手公園の供用始するため Park-PFI を活用、1 階は商業施設、2 階は人口芝グラウンド場として利用されている。

④ 上人ヶ浜公園整備運営事業

海浜砂湯リニューアルと公園のアップデート。

観光施設、砂湯温泉が楽しめる、自然の海岸が残る市内唯一の海浜公園。

考察

公園の目的を明確にし、市民のニーズを捉えていること

- ・自由に利用できる公共施設・人々のレクリエーションの空間
- ・良好な都市景観や都市環境・防災性の向上・生物多様性の確保・交流の空間
- ・地域の魅力向上や地域資源・観光振興、地域活性化の場

等が充実しており感銘しました。

さらに、公園内でバーベキューや花火が開催できるように条例改正がなされていることや民間へのアプローチを積極的に実施されておりました。

本市においても、今後の事業展開にあたっては、市商工会をはじめ県内外へ積極的にアプローチを推進すべきである。

視察研修先	大分県自主防災組織活動支援センター	氏名	佐藤 耕治
視察研修項目	自主防災組織活性化支援センター		
<p>概要</p> <p>人口 468,766人 面積 502.39km²</p> <p>大分県のほぼ中央に位置し、大分県の行政・経済・交通の中心部で大分都市圏の中心部である。古くは豊後国の国府が置かれ、府内(ふない)と呼ばれた。中世には大友氏の城下町として発展し、戦国時代にはキリシタン大名大友義鎮(宗麟)の庇護のもと、日本におけるキリスト教布教の中心となり、南蛮文化が開いた。高度成長期に、鉄鋼業、化学工業などの重化学工業の進出に伴い大分臨海工業地帯の工業都市として急成長し、九州内では製品出荷額第一位。近年では、電子工業の立地が進んでいる。</p> <p>① 防災士スキルアップ研修</p> <p>「自助」「共助」の防災力の向上に寄与できる防災士の育成。</p> <p>地域防災活動の指針・地域の防災活動・防災士のスキルアップ研修。</p> <p>② 自主防災組織の構成員と女性の役割</p> <p>班編成・防災組織図・女性・婦人に特化した防災活動・男女共同参画の視点を入れるための取り組み。</p> <p>③ 自主防災組織の必要な資機材 機材訓練</p> <p>目的：活動のレベルに応じて内容を検討・目的別防火資機材・自治会の防災資機材</p>			

④ 自主防災組織の「防災訓練」内容とその指導

目的別と事例紹介

⑤ 自主防災組織地域内の安否確認方法

事例紹介：スマホ,ケイタイ,固定電話・トランシーバー・個別訪問

⑥ 自主防災組織の活性化に向けた取り組み

防災士養成研修・防災士スキルアップ研修・相談指導・県アドバイザー派遣・

「避難させ隊」事業(避難訓練の実施・防災学習会の実施)支援

考察

「災害は、いつ発生するかわからない。」「備えあれば患いなし」です。

日本列島は地震大国とも言われており、中でも大分県はとりわけ、「南海トラフ地震を想定した取り組み」の必要性を強く意識しております。

災害時の初動として、「自助」「共助」の防災力の向上が必要不可欠であることについて普及啓発に多くのことを学ぶことができました。

自主防災組織では、必要だとわかっているが、どうしてよいかわからないとき。

活動はしているが、滞っているときやうまくいかないとき。

活動してきたが、マンネリ化していて効果がみられないとき。

このようなことから、本市においては、毎年防災訓練をはじめとし実施しているが、市の自主防災組織研修・避難訓練の実施を推進することに期待する。